



未来につなぐ ひとまちみどり 誇れる町

三芳町第5次総合計画始動。

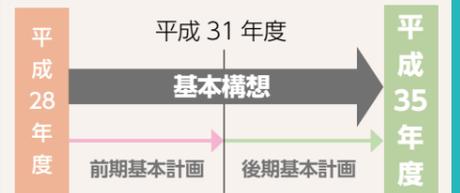
三芳町第5次総合計画

第4次
総合振興
計画

第5次
総合
計画

平成27年度に三芳町第4次総合振興計画が終了し、平成28年度に新たに三芳町第5次総合計画がスタートしました。

総合計画の構成



計画期間は、平成28年度から平成35年度までの8か年とし、必要に応じて見直すため前期と後期それぞれ4か年に分けます。



ダイジェスト版

図書館や公民館など各公共施設で、三芳町第5次総合計画のダイジェスト版を配布しております。

◀左の表紙が目印です。

まちづくりの基本理念



第5次総合計画では、3つの基本理念を掲げ、複雑化した町の課題に取り組み、新たなまちづくりをめざします。

平成35年度の目標人口

見込み 36,500人 → 目標 **38,500人**

推計によると36,500人まで減少することから、町では2,000人の人口増を目標とし、目標人口を38,500人とします。

まちの将来像（スローガン）



まちの将来像をもとに総合計画を進めていきます。また公募から大阪市の塩崎榮一さんがデザインしたマークに決定しました。

03

【プロジェクト3：子育て支援】

若い世代が安心して結婚し、出産・子育ての希望をかなえ、地域ぐるみで子どもを育む力のある地域社会の実現をめざします。

04

【プロジェクト4：緑の保全・活用】

緑に恵まれた環境を活かし、自然環境と地域の農業を守り、良好な景観形成や農産物のブランド化を進めていきます。

05

【プロジェクト5：西の玄関口】

企業の誘致や道の駅、地域経済の活性化などスマートICフル化に向けての戦略的なまちづくりを展開します。

5つの重点プロジェクト

01

【プロジェクト1：行財政基盤強化】

事業の見直しや改善を計画的に行い、財政基盤の強化を図ります。また人や企業に選ばれらるまちをめざします。

02

【プロジェクト2：健康長寿】

健康・医療の連携や健康づくり対策を行うなど、住民がいつまでも元気に活躍できる健康長寿のまちをめざします。

「まちづくりの指針」総合計画とは
これからの三芳をどのように作っていくのか、その方向性を描いた、まちづくりの指針となるものが総合計画です。どのようなまちをめざすのかを表した「基本構想」と、それを実現するため取り組むべきものを示した「基本計画」で組み立てられています。また、5つの重点プロジェクトを掲げ、町の財政基盤の強化を図り、持続可能なまちづくりをめざしていきます。

みんなで未来を拓く
社会状況の変化や、個人の生活の多様化、価値観の変化により、まちの課題が複雑化しています。少子高齢化、環境保全、防災・防犯対策など、地域のさまざまな問題を解決し、まちの魅力を高めていくためには、行政だけでなく地域の住民や大学・企業・団体などと一緒に知恵と力を出し合いながら取り組むことが重要です。

第5次総合計画では、「みんなで未来を拓くまち」「安全安心で幸せに暮らせるまち」「緑と活力にあふれた魅力あるまち」の町の将来像を示す3つの基本目標を定め、少子高齢化の問題などに積極的に取り組んでいきます。また、「協働のまちづくり」の理念を引き継ぎ、さらなる深化を図り、未来につながる持続可能な新しい三芳町を、住民の皆さんと共につくりあげていきます。

**平成35年までに
1500人減少見込**
少子高齢化が急速に進む現在の日本。三芳町も例外ではありません。